



コレクチム[®]
軟膏を
お使いになる方へ

第7版

監修

いがらし皮膚科東五反田 院長

五十嵐 敦之 先生



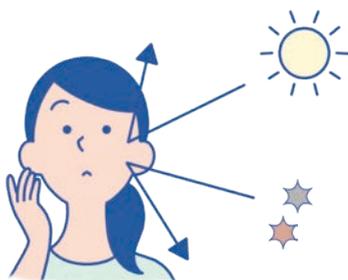
鳥居薬品株式会社

目次

○アトピー性皮膚炎の皮膚	3
○アトピー性皮膚炎の症状	4
○アトピー性皮膚炎の治療	5
○アトピー性皮膚炎のメカニズムとコレクチム軟膏のはたらき	6
コレクチム軟膏とは	6
「JAK/STAT経路」に関わる主な体内物質	7
1 アトピー性皮膚炎の要因のひとつ、「免疫の異常」	8
2 JAK/STAT経路と免疫の異常の関係	10
3 JAK阻害剤コレクチム軟膏のはたらき	11
○コレクチム軟膏の塗り方	12
○塗り方のポイント	14
1 1回に必要な塗布量の目安	14
2 皮膚の状態とコレクチム軟膏	16
○コレクチム軟膏を使用する際の注意	18
○コレクチム軟膏の副作用について/保管方法	20
○アトピー性皮膚炎の外用治療	21
○アトピー性皮膚炎の治療ゴール	22

アトピー性皮膚炎の皮膚

皮膚には、私たちの体を紫外線や化学物質、細菌などの外界の環境から守る「バリア機能」の役割があります。



アトピー性皮膚炎は、この皮膚の「バリア機能」が低下しています。

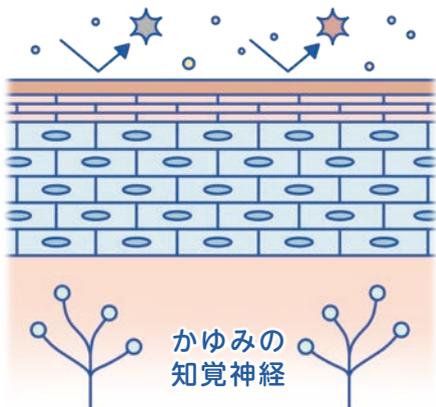
そのため、ハウスダスト(ダニ、カビ、ほこりなど)や化学物質(化粧品、金属、消毒薬)などのアレルギーを起こしやすいアレルゲンなどが侵入して「皮膚の炎症」を起こします。

また、「かゆみ」を感じる神経(知覚神経)が皮膚の表面のほうへ伸びてくるため、「かゆみ」を感じやすくなります。

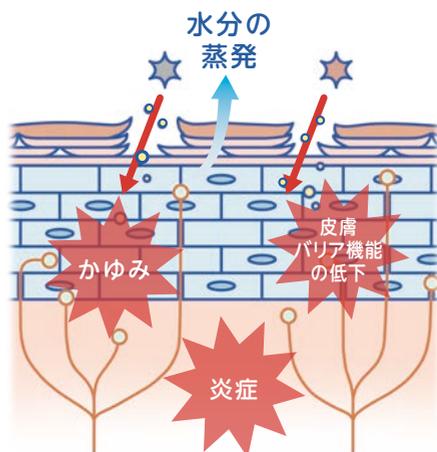
● 健康な人の皮膚と、アトピー性皮膚炎の皮膚との違い

健康な皮膚

アレルゲン(ハウスダスト、化学物質など)



アトピー性皮膚炎の皮膚

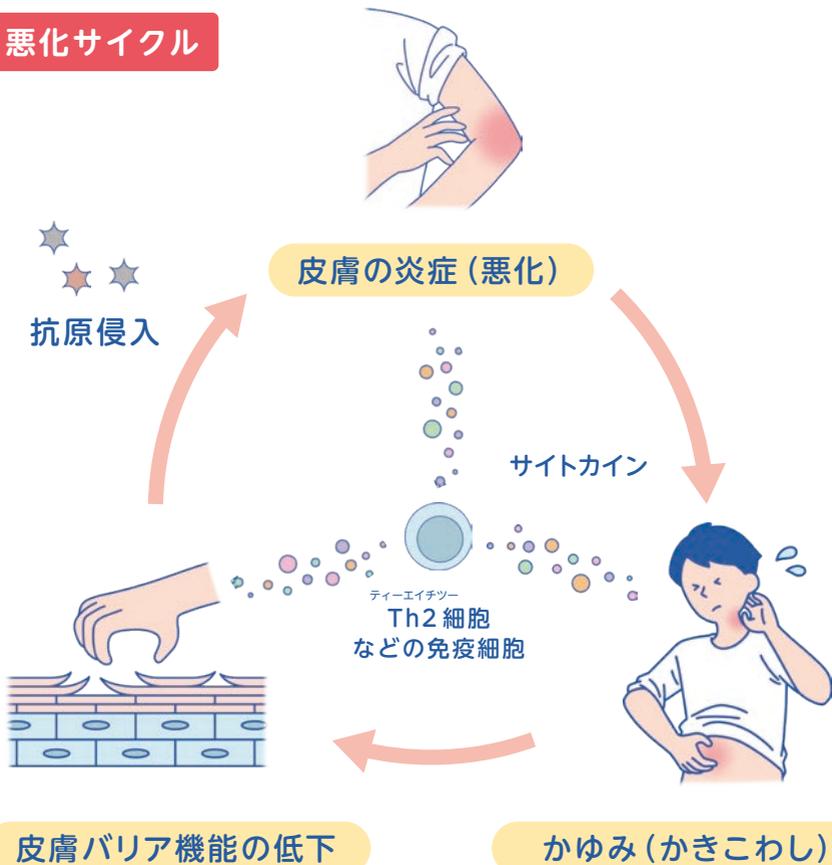


アトピー性皮膚炎の症状

アトピー性皮膚炎は、「皮膚バリア機能の低下」と「皮膚の炎症」と「かゆみ」が影響し合いながら、良くなったり悪くなったりをくり返す疾患です。

また、皮膚をかきむしることでさらに皮膚バリア機能が低下し、「皮膚の炎症」が悪くなるという悪化サイクルを起こします。

悪化サイクル



アトピー性皮膚炎の治療

アトピー性皮膚炎の治療は、「薬物療法」、「スキンケア」、「原因や悪化させる因子への対策」の3点が基本になります。

1. 薬物療法

皮膚の炎症やかゆみを抑える。

外用薬 保湿剤

ステロイド外用剤

ウィーク / ミディアム / ストロング /
ベリーストロング / ストロングゲスト

免疫抑制外用剤

外用ヤヌスキナーゼ^{ジャック} (JAK) 阻害剤

外用PDE4阻害剤

治療用 AhR 調節薬

内服薬

抗ヒスタミン薬

経口免疫抑制剤

経口ステロイド剤

経口JAK阻害剤

注射薬 生物学的製剤

2024年12月現在



2. スキンケア

入浴やシャワーで汚れを落とし、皮膚を清潔に保ち、保湿してうるおいを保つ。



3. 原因や、悪化させる因子への対策

原因や悪化させる因子を見つけ、可能な限り取り除く。

悪化の因子：汗、ストレス、アレルゲン*、紫外線など

*ハウスダスト(ダニ、カビ、ほこり)、化学物質(化粧品、金属、消毒薬)など

—アトピー性皮膚炎のメカニズム

p6～11では、アトピー性皮膚炎のメカニズムとJAK/STAT経路の関わり、コレクチム軟膏のはたらきについて解説します。

● コレクチム軟膏とは

コレクチム軟膏は「JAK阻害剤」と呼ばれる塗り薬で、ステロイド外用剤や免疫抑制外用剤とは異なる作用を持ちます。

最近の研究からアトピー性皮膚炎では、炎症やかゆみなどを引き起こす信号を免疫細胞に送る「JAK/STAT経路」と呼ばれるしくみが関わっていることがわかってきました。

コレクチム軟膏は、JAK/STAT経路にはたらきかけ、アトピー性皮膚炎の症状を改善します。

コレクチム軟膏

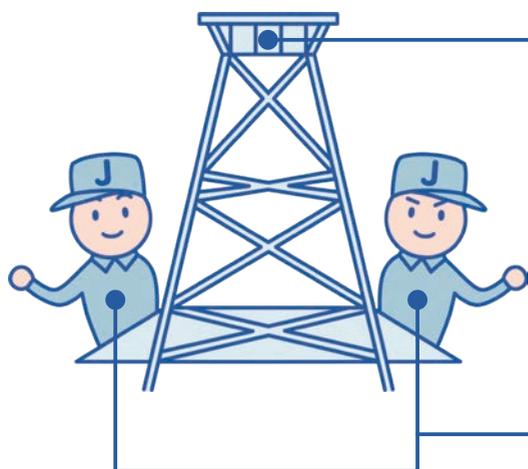


● 「JAK/STAT経路」に関わる主な体内物質



サイトカイン

主に免疫に関わる細胞から分泌される物質で、細胞同士の情報を伝える役割を持ちます。免疫や炎症に強く関わっています。



サイトカイン受容体

サイトカインの受け皿のようなものです。細胞の表面にあり、ここにサイトカインがつくと情報のやりとりが始まります。

JAK

受容体を介してサイトカインから届いた情報を信号に変えてSTATに送ります。



STAT

JAKから受け取った信号を、サイトカインを作り出す細胞の中心にある核*まで運びます。

JAKとSTATのやりとりをJAK/STAT経路といいます。

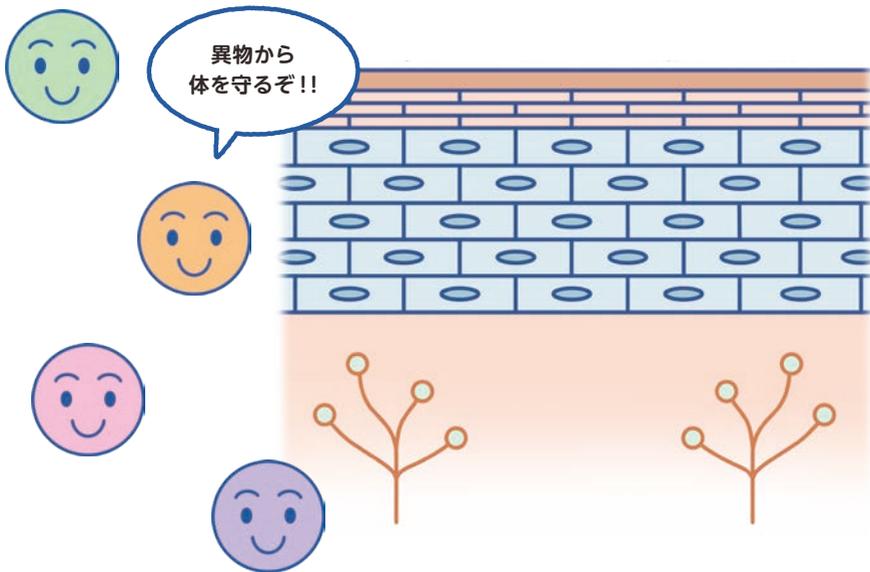
※ 細胞の中心にあり、細胞をコントロールする機能を持ちます。

1 アトピー性皮膚炎の要因のひとつ、「免疫の異常」

これまでの研究から、アトピー性皮膚炎の患者さんの皮膚では「免疫の異常」が起きていると考えられています。

免疫機能が正常な場合は、病原菌やアレルゲン等の異物が侵入してきた際に、免疫細胞から適切な量のサイトカインが分泌され、異物から体内を守るはたらきをします。

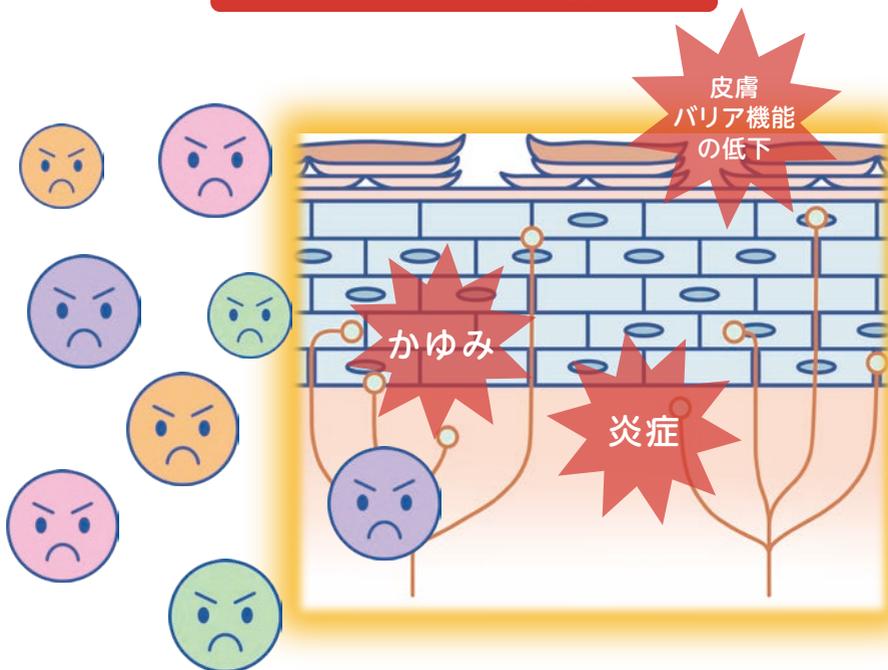
免疫機能が正常



しかし、アトピー性皮膚炎では、
このサイトカインが過剰に出ている状態にあります。
その結果、炎症やかゆみ、皮膚バリア機能の低下を引き起こします。
サイトカインには多くの種類がありますが、その中でもTh2細胞という
免疫細胞が作り出すIL-4、IL-13、IL-31などのサイトカインが関与しています。

IL：インターロイキン

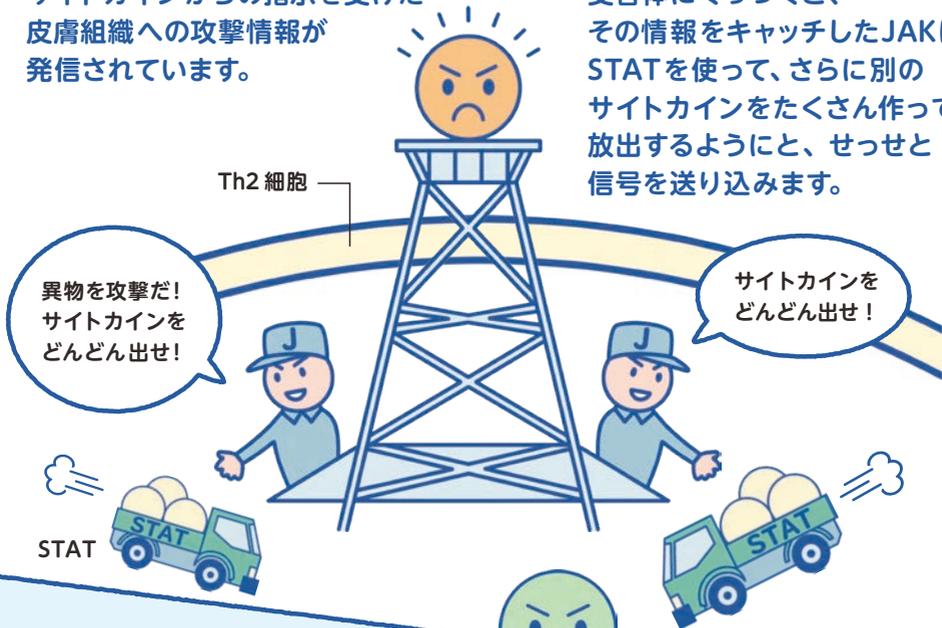
アトピー性皮膚炎



なぜ、アトピー性皮膚炎ではIL-4、IL-13、IL-31などといった
サイトカインが過剰に増えているのでしょうか？
その原因のひとつに、「JAK/STAT経路」の関与が知られています。
では、Th2免疫細胞の中のをのぞいてみましょう。

Th2細胞の中では、
サイトカインからの指示を受けた
皮膚組織への攻撃情報が
発信されています。

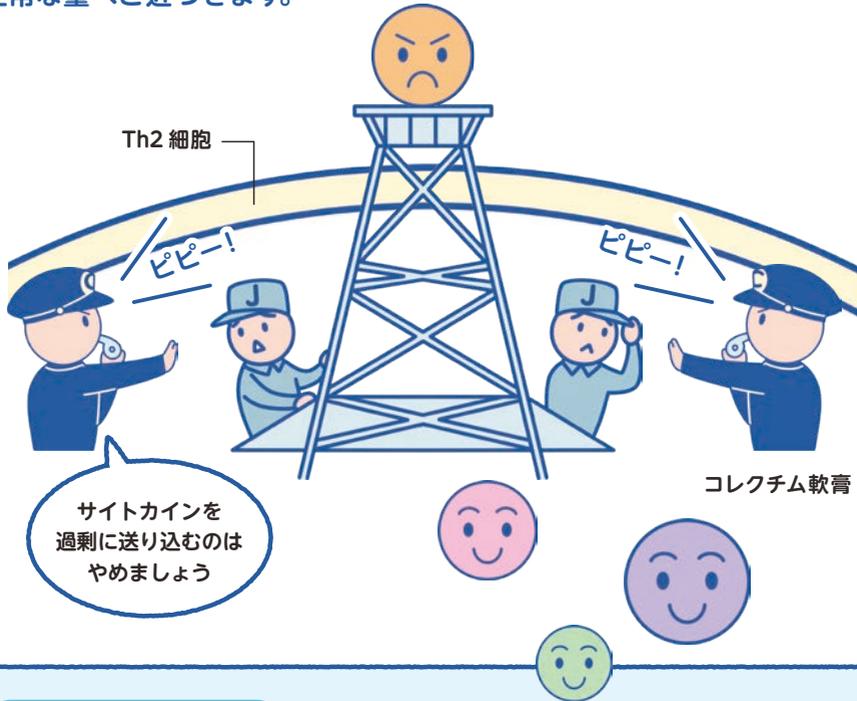
サイトカインがTh2細胞上の
受容体にくっつくと、
その情報をキャッチしたJAKは、
STATを使って、さらに別の
サイトカインをたくさん作って
放出するようにと、せっせと
信号を送り込みます。



JAK/STAT経路からの伝達によって
サイトカインが次々と放出され、
サイトカインの量が過剰な状態となります。
その結果、皮膚バリア機能の低下、
かゆみ、炎症が生じます。



コレクチム軟膏はJAKのはたらきを抑えます。
この作用により、サイトカインが過剰に産生されなくなり、
正常な量へと近づきます。

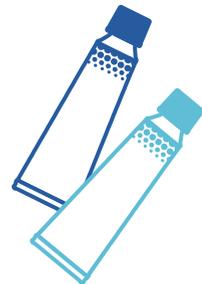


期待される効果

コレクチム軟膏によってサイトカインが正常な量に調節されることで、
皮膚が正常な状態に近づきます。その結果、アトピー性皮膚炎の
炎症の抑制やかゆみの改善などが期待できます。

炎症の
抑制

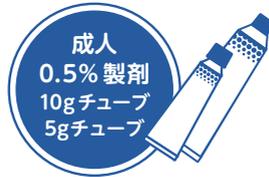
かゆみの
改善



コレクチム軟膏の塗り方

薬剤の選択やお薬を塗る部位、範囲については、医師・薬剤師の指示に従ってください。

コレクチム軟膏は1日2回、患部に適量を塗ります※1。



※1 小児の場合は、症状に応じて0.5%製剤を塗ることができます。

0.5%製剤で症状が改善した場合は、0.25%製剤に切り替えることがあります。

- 1回に塗る量は5g (5gチューブ1本、10gチューブ1/2本) までです※2。
- コレクチム軟膏を1回に塗ることができる範囲は、全身の30%までが目安です。

※2 6か月以上2歳未満の小児の臨床試験では、1回に塗る量が2.5g (5gチューブ1/2本、または10gチューブ1/4本) までしか使用経験はありません。



大人の人差し指の先端から第一関節までコレクチム軟膏を出します。この量が「1FTU」で、約0.5gです。(詳しくはp14~15をご覧ください)。

※3 FTU : Finger tip unit

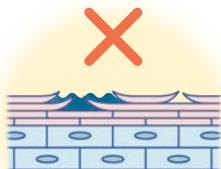
2



「1FTU」で、大人の手のひら2枚分くらいの面積に塗ることができます。

- 1 次のような箇所には使わないでください。
 - 粘膜 (眼や口、鼻の中など)
 - 皮膚の傷やただれ、アトピー性皮膚炎以外の炎症や感染症のある部位
- 2 万一、眼に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。

3



すり込んだり、うすく塗ると、
患部に十分届かない



たっぷり塗ると患部にも行き届き、
軟膏が皮膚を守る役割も

コレクチム軟膏を指でちょん、ちょんと小分けにして体に付け、
手のひらで伸ばすように広げます。

すり込まず、たっぷりのせるように塗りましょう。

Point

アトピー性皮膚炎の皮膚は、皮膚バリア機能が低下し、乾燥しているため
カサカサしています。軟膏を皮膚を覆うようにたっぷり塗ることで、
皮膚にまんべんなく薬剤が浸透し、お薬の効果を発揮できます。

4



ティッシュが皮膚に付く、
または、皮膚がテカる程度が、
お薬の効果を発揮できる塗り方です。

5



患者さんの手のひら1枚分の塗布量が、
おおむね体表面積の1%の塗布量になります。

3

お薬を塗ったところに赤または白の小さな吹き出物や、ニキビができることが
あります。気になる症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談
してください。

4

4週間（約1カ月）塗り続けても症状が改善しない場合は、
医師に相談してください。

塗り方のポイント

1

1回に必要な塗布量の目安

数値は目安です。皮膚の状態に合わせて薬剤の選択やお薬を塗る部位、範囲を判断しますので、医師・薬剤師の指示に従って使用してください。

1FTUを3ステップで

塗布量を測るための目安としてFTU (finger tip unit) を覚えましょう

1 大人の人差し指
第一関節分

2 約0.5g

3 塗布面積は大人の
手のひら約2枚分



1FTU (0.5g) で手のひら約2枚分を目安に塗布ください

成人

顔・首
(頭皮は除く)

● 2.5FTU



片うで・片手
(前面・背面を含む)

● 4FTU



胸・おなか

● 7FTU



片あし
(前面・背面を含む)

● 8FTU



背中・おしり

● 7FTU



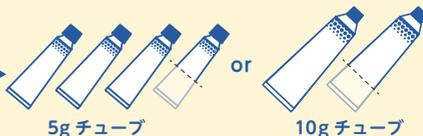
参考: Long, C.C. et al. Clin Exp Dermatol, 1991, 16 (6). 444-447

例

適切な量を塗っていますか?

コレクチム軟膏5g チューブ約3本半分、
10gチューブ約1本と3/4分に相当します(1回2.5FTU)。

成人の患者さんが、
顔と首全体に塗布する場合
1週間(7日間)の適正量は

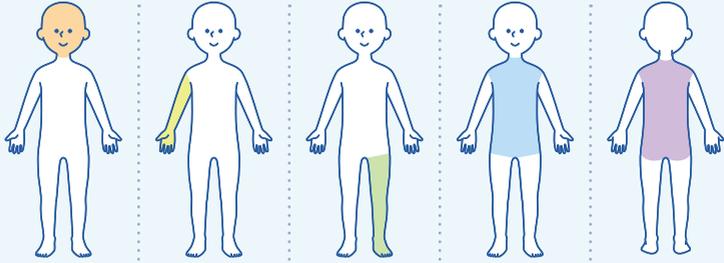


・1FTUで約0.5gの薬剤が出るように
設計されたチューブを使用しています。

10gチューブはコレクチム軟膏0.5%のみです。

小児

小児の患者さんは、体表面積が成人患者さんと異なるため、塗布量の目安が異なります。年齢だけでなく、体格なども考慮して塗布部位や塗布量等が決められますので、医師の指示に従って薬剤を使用しましょう。



顔・首
(頭皮は除く)

片うで・片手
(前面・
背面を含む)

片あし
(前面・
背面を含む)

胸・おなか

背中・おしり



3～6ヵ月

1FTU



1FTU



1.5FTU



1FTU



1.5FTU



1～2歳

1.5FTU



1.5FTU



2FTU



2FTU



3FTU



3～5歳

1.5FTU



2FTU



3FTU



3FTU



3.5FTU



6～10歳

2FTU



2.5FTU



4.5FTU



3.5FTU



5FTU



参考：Long, C.C. et al. Br J Dermatol, 1998, 138 (2). 293-296

コレクチム軟膏は、6ヵ月未満の乳児を対象に、有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していません。6ヵ月以上2歳未満の小児の臨床試験では、1回に塗る量が2.5g(5gチューブ1/2本、または10gチューブ1/4本)までしか使用経験はありません。

皮膚の状態とコレクチム軟膏

皮膚の赤みは消えても、触ったときに肌がザラザラしている、まだ皮膚が乾燥している場合は、まだ皮膚の奥に炎症が残っている可能性があります。

つまり、サイトカインからアトピー性皮膚炎に関与する信号が送り出されていて、再度、症状が悪化する可能性があります。



コレクチム軟膏は薬剤です。

「皮膚の状態が良くなった」と思っても自分の判断で塗ることを中断せずに、医師の指示に従いましょう。

コレクチム軟膏は、粘膜や次のように皮膚がジクジクしていたりただれているところ、とびひやヘルペスなど感染症を起こしている部分には塗らないでください。

ただれ



とびひ



ヘルペス



コレクチム軟膏を使用する際の注意

これまでに、この薬に含まれる成分で過敏症のあった方は、
お使いにならないでください。



妊婦または妊娠している可能性がある方は、
医師に相談してください。

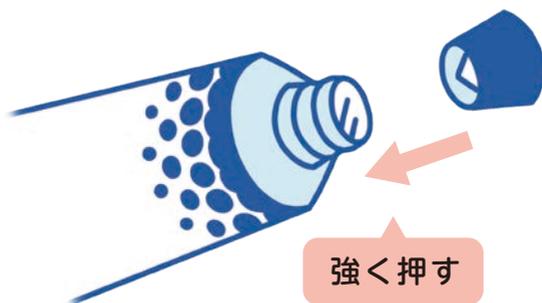
授乳している方は、
医師に相談してください。
また、授乳している方が使用する場合は、
乳首などの塗布部位を乳児が
舐めないように気を付けてください。



他の医療機関を受診する場合や、
薬局で他の薬を購入する場合は、
必ずこの薬を使用していることを、
医師または薬剤師に
伝えてください。

コレクチム軟膏を塗り忘れた場合

- 決して2回分を一度に塗らないでください。
- 塗り忘れに気が付いたときに「1回分」を塗ってください。
- ただし、次に塗る時間が近い場合は、あらかじめ決められていた次の時間に「1回分」を塗ってください。



チューブを開ける際、チューブのフタの裏の突起で強く押し込んでください。

押し方が弱いとチューブの口が十分に開かず、適量を出せないことがあります。

コレクチム軟膏の副作用について

次のような副作用が出る場合があります。

● 塗った部位

毛包炎
(赤い発疹など)

紅斑
(赤くなる)

ざ瘡
(ニキビ症状)

刺激感
(ヒリヒリ感など)

上記以外にも、カポジ水痘様発疹、単純ヘルペスなどの副作用が出る場合がありますので、気になる症状がある場合には、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法

- 直射日光を避けて、室温(1~30℃)で保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。

アトピー性皮膚炎の外用治療

アトピー性皮膚炎の治療は、まず外用剤が基本となります。アトピー性皮膚炎は、患者さんの状態を確認しながら、コレクチム軟膏やその他の外用剤を組み合わせる治療をします。

また、アトピー性皮膚炎は慢性疾患です。治療の進め方は医師と患者さんが相談しながら進めます。何か気になることや困っていることがあれば、医師に相談しましょう。

きちんと症状を改善し、再度アトピー性皮膚炎がひどくなるのを防ぐためにも、相談しながら治療を続けていきましょう。



アトピー性皮膚炎の治療ゴール

アトピー性皮膚炎の治療が目指すゴールは、症状がなくなる、または症状があっても日常生活に支障がなく、薬もあまり必要のない状態を維持することです。

アトピー性皮膚炎は、良くなったり悪くなったりをくり返す疾患です。皮膚の湿疹やかゆみが治まったとしても、医師の指示通りに薬を塗り続けることがポイントとなります。いつまで塗り続けたらよいか、気になる方は医師に聞いてみるとよいでしょう。

また、治療を続けるためにも身近な治療の目標を立ててみるのもよいでしょう。



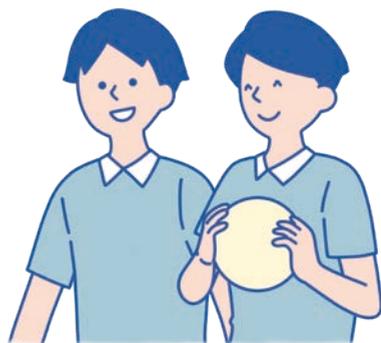
ぐっすり眠りたい



試験に
集中できるように
になりたい



肌のことを悩まず、
好きな服を着たい



気兼ねなく、
仲間とスポーツを
楽しみたい

あなたにとっての治療ゴールを記入してみましょう。

動画でわかる！
「意外と知らない、
外用剤の正しい塗り方」も
参考にしてね。



- 本冊子の内容はWebサイト
「コレクチムをお使いになる方へ」でもご覧になれます。

<https://www.corectim-patient.jp/>



医療機関名